【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】令和5年8月2日(2023.8.2)

【国際公開番号】WO2022/107629
【出願番号】特願2022-563696(P2022-563696)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｂ　1/00(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｂ　1/00　６５４

【手続補正書】
【提出日】令和5年4月18日(2023.4.18)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】請求項１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【請求項１】
内視鏡用機器を外部に露出した状態で載置する載置部と、
前記外部に露出した状態の内視鏡用機器に紫外線を照射する紫外線光源部とを備える内視鏡用カート。
【手続補正２】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】請求項１１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【請求項１１】
紫外線を照射する紫外線光源部を備え、外部に露出した状態で前記紫外線が照射される内視鏡用機器。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００７】
本発明の内視鏡用カートは、内視鏡用機器を外部に露出した状態で載置する載置部と、外部に露出した状態の内視鏡用機器に紫外線を照射する紫外線光源部とを備える
【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１３
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１３】
本発明の内視鏡用機器は、紫外線を照射する紫外線光源部を備え、外部に露出した状態で紫外線が照射される。
【手続補正５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００３０
【補正方法】変更

【補正の内容】
【００３０】
また、図４、図５に示すように、引き出し部２５ｂが、収納位置とこの収納位置から引き出された引出位置との間で移動可能なスライド板４２を有している場合において、スライド板４２に対して、紫外線光源部４３が設けられている。紫外線光源部４３は、スライド板４２の下面に設けられており、スライド板４２が引出位置にある場合において、光源装置１４又はプロセッサ装置１５に対して紫外線ＵＶを照射する。紫外線光源部４３は、紫外線ＵＶが光源装置１４の操作パネル１４ａ又はプロセッサ装置１５の操作パネル１５ａの少なくともいずれかに照射されるように（上方又は斜め上方からの照射）、設けることが好ましい。
【手続補正６】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００３３
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００３３】
また、図８～図１５に示すように、内視鏡用カート２０には、紫外線光源部５０が設けられた光源用筐体５１、及び、光源用筐体５１を保持する光源保持部５２であって第１方向に移動可能、且つ、第１方向と直交する第２方向に向けて回転可能である光源保持部５２から構成される紫外線光源ユニット５３を設けてもよい。具体的には、紫外線光源ユニット５３は、棚板２７の側面２７ａに沿って設けることが好ましい。例えば、光源保持部５２を棚板２７の側面に取り付ける。光源保持部５２は、棚板の側面２７ａに固定で取り付けられる固定板５５と、光源用筐体５１を保持し、且つ、光源用筐体５１の位置をプロセッサ装置１５の前面側までに伸ばすための伸長板５６を有している。なお、紫外線光源ユニット５３は、光源用筐体５１、固定板５６、及び、伸長板５６の３つの部材で構成しているが、紫外線光源ユニット５３は、光源用筐体５１と、固定板５５の２つの部材でのみの構成としてもよい。
【手続補正７】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００３８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００３８】
また、紫外線光源部４０は、図１５に示すように、紫外線ＵＶを発する紫外線光源６０、紫外線光源６０から発せられた紫外線ＵＶを導光する導光板６３、及び、紫外線ＵＶを内視鏡用機器に向けて出射する出射部６４を有することが好ましい。導光板６３は入射面６３ａ及び出射面６３ｂを有している。紫外線光源６０は導光板６３の入射面６３ａに対向して配置される。紫外線光源６０から入射面６３ａから入射した紫外線ＵＶを内部で反射等して、出射面６３ｂから出射させる。出射部６４は、略直方体状の光源ボックス６５の一面において、光を透過させる透明な部材で構成される。導光板６３と出射部６４とが対向することで、導光板の出射面６３ｂに出射した紫外線ＵＶが、出射部５４を通して、内視鏡用機器に照射される。